

# EA468L-31~-38 (水道凍結防止帯)

## 施工前・使用前に必ずお読みください。

お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。

## 安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。



**警告** 取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。



**注意** 取り扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または、物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

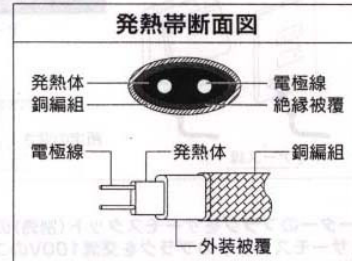
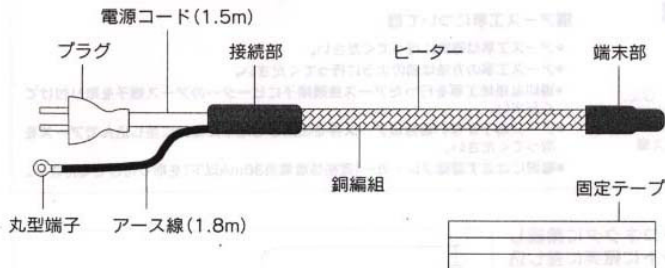
### 警告

- プラグは完全にコンセントに差し込み、電源コードが引っ張られた状態では使用しないでください。
- たこ足配線はしないでください。
- プラグの金属部の周囲に、ほこりなどが付着していないことを確認してからご使用ください。
- プラグをぬれた手で触らないでください。感電する恐れがあります。
- 本品は交流100V以外の電源電圧で使用しないでください。
- コンセントが屋外にある場合は、プラグが雨などでぬれない場所に設置してください。
- ヒーターを切ったり、傷を付けたり、衝撃を加えたり、引っ張ったりしないでください。ヒーター同士をつなぎ合わせはしないでください。
- アース工事は確実に行ってください。

### 注意

- 本品の改造、修理はしないでください。
- 壁を貫通させる場合は塩ビ管でヒーターを保護してください。
- ご使用中に異常を感じた場合や凍結シーズン前には、プラグをコンセントより抜いて保温テープを取りはずし、ヒーターおよび電源コードを点検してください。ヒーターおよび電源コードに傷が付いていた場合は使用しないでください。
- 凍結の恐れのない時期は、プラグをコンセントから抜いてください。
- 可燃性ガス・還元性ガス・腐食性ガス雰囲気内では使用しないでください。
- 水中では使用しないでください。
- 本品を水道凍結防止の目的以外では使用しないでください。
- 85℃(断続)以下でご使用ください。連続の場合は65℃以下でご使用ください。
- ヒーターの取り扱いに際しては絶縁被覆の損傷に十分ご注意ください。
- ヒーターには無理な力が加わらないように十分ご注意ください。
- ヒーターの突入電流は定格電流の約1.5~2倍流れますので、漏電ブレーカーの定格にはご注意ください。
- 長年の使用によっては経年変化で抵抗値が変化し、消費電力(出力)に影響を与える可能性があります。

## 各部のなまえ



## 仕 様

\*消費電力は配管の温度が0℃での設計出力です。

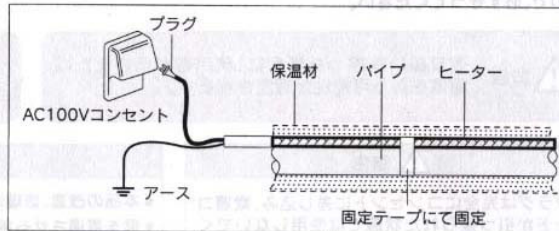
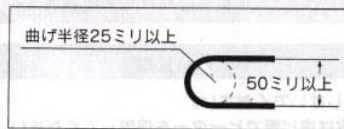
品 番	ヒーターの長さ	定格電圧	消費電力	品 番	ヒーターの長さ	定格電圧	消費電力
L-31	1m	100V	13W	L-35	6m	100V	78W
L-32	2m	100V	26W	L-36	10m	100V	130W
L-33	3m	100V	39W	L-37	15m	100V	195W
L-34	4m	100V	52W	L-38	20m	100V	260W

## ヒーター巻き付け間隔一覧

パイプ径	外気温	巻き付け間隔(mm)	ヒーター必要長さ(m)	パイプ径	外気温	巻き付け間隔(mm)	ヒーター必要長さ(m)
15A	保温テープの場合	0--10℃	143	32A	保温テープの場合	0--10℃	71
		0--20℃	38			1.8	0--20℃
20A	保温テープの場合	0--10℃	90	50A	保温テープの場合	0--10℃	68
		0--20℃	37			2.2	0--20℃
25A	保温テープの場合	0--10℃	77	* 表の「ヒーター必要長さ」は管内の保持温度が5℃で設定されています。 * ヒーター必要長さ: 配管1m毎に必要なヒーターの長さ			
		0--20℃	36				

## 取付方法

- ①ヒーターをパイプやバルブなどに巻き付け(そわせ)ます。  
\* ヒーターがねじれたまま巻き付け不要、ご注意ください。  
\* ヒーターを巻き付ける際、ヒーターの最小曲げ半径は25ミリ以上にしてください。



- ②ヒーターをパイプやバルブなどに固定テープで固定します。  
\* ヒーターを固定する際、必ず付属の固定テープをご使用ください。絶縁ビニールテープなど、他のテープを使用すると、ヒーターの性能に悪影響を与える恐れがあります。

- ③保温材を取り付けます。

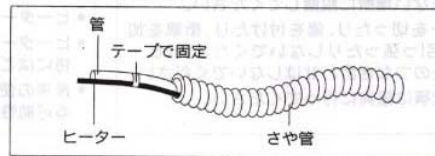
### 〈保温テープを巻き付ける場合〉

ヒーターを覆うように保温テープの発泡面を内側にしてテープ幅の1/2が重なるように巻き付けます。保温テープの巻き始めと巻き終わりは、固定テープで固定します。

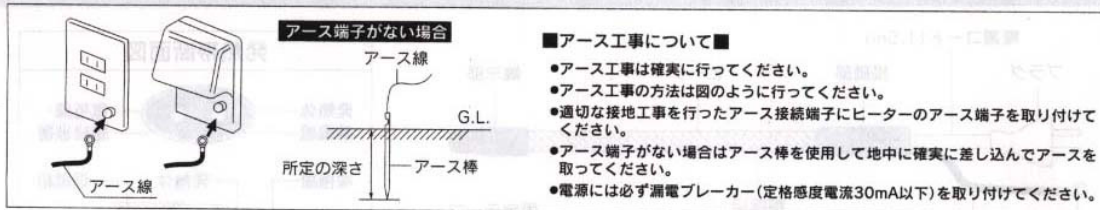
- \* 保温テープは別途「保温テープ(給湯・給水管兼用)(品番:0698)4m」をお求めください。

### 〈さや管を取り付ける場合〉

ヒーターを巻き付けた管などをさや管に通します。



- ④アース線の丸型端子をアース端子に取り付け、しっかりと固定します。



- ⑤ヒーターのプラグをサーモスタット(別売)のコードコネクタに接続して、サーモスタットのプラグを交流100Vのコンセントに確実に差し込みます。

- \* 本品は自己制御機能がありますので異常加熱などの心配はありませんが、ヒーターの耐久性を伸ばすと同時に節電の目的でサーモスタットの併用をおすすめします。

